

令和 8 年度事業計画書

公益財団法人徳川黎明会

基本方針

当財団は、本年度も引き続き、これまで蓄積してきた豊富な実績を基盤に、美術・史学の調査・研究等に一層の研鑽を重ね、その成果について、教育・普及活動等を通じて、広く社会に提供・貢献する。また、尾張徳川家伝来の美術工芸品・歴史資料、保有する貴重な国内外の美術品・資料等について、展示・研究発表等を通じて、社会に公開し、文化・芸術の振興に努める方針である。

1. 本部・総務部

令和5年度に研究所開設100周年、令和7年度に美術館開館90周年を迎えた中で、これまでの実績と経験の積み重ねを基盤としつつ、更に財団の事業目的が円滑かつ持続的に達成されるよう、本部・総務部として各事業所を支援し、財団全体としての活動を調整していく。

2. 徳川美術館

徳川美術館は、令和7年度（2025年度）に開館90周年の節目を迎え、これを記念して尾張徳川家伝来の収蔵名品の数々を一挙公開する複数の展覧会を開催したことで、来館者数も当初見込み25万人を超過達成し、2月末現在で28万人という実績を残すことができた年度となった。これに続く令和8年度（2026年度）の事業計画としては、90年間の歩みをふまえつつ、更に10年後の開館100周年に向けた着実な一歩を踏み出す年度となるよう、来館者数見込みを控えめに17万5千人と設定し、堅実な事業展開を目指す方針としている。展覧会の設定については、近年のNHK大河ドラマにおいて「どうする家康」（令和5年）、「光る君へ」（令和6年）と当館に関わりのあるテーマが続き、令和8年においても尾張の地が物語の起点となる「豊臣兄弟！」が放送開始されているところ、春季にNHKとタイアップした「大河ドラマ特別展 豊臣兄弟！」を開催する予定である。また、本年名古屋で開催されるアジア競技大会にあわせてテーマ設定した、夏季特別展「武芸 サムライ・アスリート」を開催することとしている。この間テレビ局とのタイアップによる現代アート作品とのコラボ企画も実施し、更に秋季には、徳川美術館の創設者・尾張徳川家19代当主徳川義親の生誕140年・没後50年を記念した企画展「旅する侯爵 徳川義親」を開催する予定であり、開館91年目となる令和8年度においても、話題性のある展覧会を開催していく展覧会計画を構成している。また将来にわたる安定的な運営を目指す中、ミュージアムショップやカフェ・和食（宝善亭）等の収益事業の一層の拡充を図るとともに、バランスの取れた安定的な収益構造の構築をめざす観点から、年度当初の4月より入館料の改定を準備し、新たな10年に向けての基礎を築く年度となるよう努力する方針としている。

3. 徳川林政史研究所

令和8年度、当研究所は例年どおり所蔵史料の整理・公開を進めながら尾張藩・林政史研究を推進していく。尾張藩研究に関しては、尾張家当主の事蹟をまとめた「事蹟録」の翻刻データを分析し、今後の成果公表に向けて史料集編さんの準備作業を行う。林政史研究については、内木家所蔵史料調査の成果として、尾張藩林政史の実態を解説したブックレットと内木家文書の史料集を編集・刊行する。教育・普及活動においては、豊島区や徳川美術館と連携した講座を予定しているが、他機関からの出講依頼にも積極的に対応していく。講座開催に当たっては若手研究者を積極的に講師に据えるなど、若手育成と関連づけて活動を進める。併せて若手研究者を動員して所蔵史料の分析を進め、解説

データの蓄積を図るとともに共同研究の成果を研究紀要等で発表する。なお、研究所創設から 100 年を経過したこともあり、今後は過去の活動記録についても積極的に収集し保存に努めていく。今年度は、昭和 40 年代に研究所に所属していた元職員・研究者と会合を持ち、過去の活動に関する聞き取り調査を実施する予定である。

各事業拠点における実施事業詳細については次葉以降に記載の通りである。

I. 公益目的事業

[公益事業1] 美術館の運営事業（徳川美術館）

1. 美術品の展示・公開・修理・保存・収集

(1) 展示・公開

(ア) 名品コレクション展（第1～5展示室）

収蔵品中の名品を中心に、「武家のシンボル（展示室1）」では、甲冑・刀剣ほかの武具を展示する。また、「大名の数寄（展示室2）」では、茶碗・茶入ほかの茶の湯関連品、「大名の室礼（展示室3）」では香炉・掛軸ほかの書院飾り関連品、「武家の式楽（展示室4）」では、能面・能装束ほかの能狂言関連品を、各々名古屋城二之丸御殿の茶室・書院・能舞台を復元した展示室で展示する。「大名の雅び（展示室5）」では、婚礼調度をはじめとする「奥道具」を紹介する。これらの展示室では、年4回（3, 6, 9, 1月）大展示替えを実施し、約1か月ごとに部分展示替えを実施する。特集的なコーナーとして、展示室5では「国宝 初音の調度」を順次数点ずつシリーズで紹介する。

(イ) 特別展（本館展示室）

①NHK大河ドラマ特別展「豊臣兄弟！」4月18日～6月14日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会主催

NHK名古屋放送局・NHKエンタープライズ中部・中日新聞社・日本経済新聞社共催

NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」と連動し、信長・家康・藤堂高虎・千利休など豊臣秀吉・秀長兄弟をとりまく人々ゆかりの品々や同時代の歴史資料から豊臣兄弟が生きた栄枯盛衰の時代を展観する。

②夏季特別展「武芸 サムライ・アスリート」7月25日～9月27日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会主催

NHK名古屋放送局・中日新聞社・日本経済新聞社共催

江戸時代の大家・尾張徳川家で実際に用いられた武具類や武芸各種の伝書などを中心に、さまざまな武芸について紹介する。

③特別展「ときめく箱」10月8日～11月15日

作品を収納する箱の機能とその意匠の美に着目しながらその魅力に迫る。

④特別展「尾張徳川家の雛まつり」2月6日～4月4日 中日新聞社共催

御三家筆頭の格式と豪華さを具現する尾張徳川家の雛人形・雛道具を展示する。

(ウ) 企画展（名古屋市蓬左文庫展示室）

①NHK大河ドラマ特別展「豊臣兄弟！」4月18日～6月14日（上掲（イ）①と同一）

②企画展「お能、はじめまして。」6月25日～7月20日

尾張徳川家の充実した能面・能装束のコレクションを通して、能・狂言の魅力を紹介する。

③夏季特別展「武芸 サムライ・アスリート」7月25日～9月27日（上掲（イ）②と同一）

④企画展 生誕140年 没後50年記念「旅する侯爵 徳川義親」10月8日～12月13日

NHK名古屋放送局・中日新聞社・日本経済新聞社共催

生誕140年、没後50年を迎える義親の文化への眼差しとその足跡を、日本各地の郷土玩具やアイヌ民族資料および東南アジアやヨーロッパ旅行で得た美術品などから紹介する。

⑤企画展「古写経 祈りの美」1月5日～1月31日

毎日新聞社共催

尾張徳川家伝来の古写経を中心に、近年新たにコレクションに加わった作品も加え、古代から近世までの作品を厳選して展観する。

⑥企画展「大名もあそぶ」2月6日～4月4日

玩具や遊戯具など、大名たちの心をなごませ、生きる力を育んできた遊びの世界を紹介する。

(エ) 特別公開

①「国宝 源氏物語絵巻」横笛、宿木(二)を11月14日～11月29日の間、特別公開。

②「千利休 泪の茶杓」を2月20日～3月2日の間、特別公開。

(オ) 館外展示

①岐阜県博物館 50周年記念・特別展「尾張徳川家ゆかりの美濃刀」を岐阜県博物館で4月24日から6月28日まで実施。

②「豊臣兄弟！」展を大阪歴史博物館で7月8日から8月31日まで、東京都江戸東京博物館で9月15日から11月8日まで巡回。

③「さのびととくび 名刀のいろは」展を佐野美術館（三島市）で9月5日から10月18日まで実施。

(カ) 共同企画

①徳川美術館・中京テレビ共同企画展示「現代クリエイターとの遭遇」6月25日～7月12日 本館展示室

令和7年度に中京テレビ開局55周年記念として徳川美術館との提携により制作されたアート番組「ムジナ・バケール」が好評を博したことを受け、徳川美術館の収蔵品の一部と、オリジナル作品に触発されて制作された現代アート・クリエイターの作品を紹介しつつ、オリジナル作品の魅力を改めて探求する。

(キ) 特別観覧

①大学・研究機関等の研究目的による特別観覧に一定の条件下で応じる。

②「徳川茶会」を10月11・12・17・18・24・11月1・3日（計7日間）に開催予定。

併せて一部収蔵品についての特別観覧を実施。

(2) 修理・保存、収集

以下の作品修理を実施する。

(ア)「国宝 初音蒔絵調度祝の枕」：「国宝重要文化財等保存整備費補助金」（国庫補助事業）による修理

(イ)「黒漆楼閣人物図螺鈿方形印籠・盆」：三菱財団文化財修復事業の助成による修理

(ウ)「束帯天神像」：出光美術館美術品修復助成による修理

(エ)「金茶地牡丹文金襴袷狩衣」：前年度からの修理を継続。

なお作品収集については予定していないが、寄贈の申し出があれば検討する。

3. 調査・研究

(1) 学芸部における調査・研究として以下を実施する。

①館蔵品調査、②尾張徳川家御道具帳のデータベース化、③尾張徳川家関係寺社蔵品調査、④尾

張徳川家に関連する政秀寺所蔵什宝の調査、⑤幕末明治浮世絵の研究、⑥尾張藩御用絵師の研究、⑦大名家における絵師の絵画活動についての研究、⑧尾張における画家の活動について一田中訥言を中心に、⑨武家女性の生活史の研究、⑩尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書についての研究、⑪尾張徳川家に関連する仏教絵画の研究、⑫近世大名文化における刀剣の受容史的研究、⑬尾張徳川家伝来の古筆に関する研究、⑭刀剣の造形的特質に関する研究、⑮唐絵の受容史的研究、⑯茶道史の研究、⑰尾張徳川家に関する古典籍および古文書の研究、⑱刀装具に関する研究、⑲漆工史に関する研究、⑳岩佐派の研究、㉑尾張徳川家における演能の研究

(2) 徳川林政史研究所との以下の連携研究を継続する。

尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究、尾張徳川家関連史料に関する基礎調査・研究、その他、展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進を図る。

(3) 収蔵品データベースの構築および研究用図書類の整備(継続)

(4) 研究成果の公開・公刊等

(ア) 定期研究発表会 年2回実施予定(第88回・89回)

(イ) 特別展図録等の作成・頒布

以下の図録と冊子の作成を予定。

(図録) ①蔵品抄「武器・武具」、②館外展 岐阜県博物館特別展「尾張徳川家ゆかりの美濃刀」図録、③NHK大河ドラマ特別展「豊臣兄弟!」図録、④佐野美術館共同展「とくびとさのび 名刀のいろは」図録、(冊子) ①特別展「ときめく箱」紹介冊子、②企画展「旅する侯爵 徳川義親」紹介冊子

(ウ) 金鯉叢書第54輯(「研究紀要」第61号)の編集・刊行

(エ) 美術館だより「葵」の作成・WEB公開を予定(第138号～141号)

(5) 大名道具収蔵館研究会の実施

(当館は幹事館の一つとなっている)

4. 教育・普及

以下の諸事業を実施予定。

(1) 記念講演会

(ア) 特別展「豊臣兄弟!」:「天下人秀吉の誕生と秀長—豊臣政権の成立へ—」記念講演会(4月)

(イ) 企画展「お能、はじめまして。」:講義及び体験講座(6月)

(ウ) その他、夏季特別展「武芸 サムライ・アスリート」および企画展「旅する侯爵 徳川義親」関連の記念講演会を開催予定

(2) 体験講座

(ア) 個人向け オリジナル香り袋づくり講座、組香体験等を実施予定

(イ) 学校向け 小学校・中学校・高校・大学の生徒・学生向け体験を含めた来館プログラムを依頼に応じ随時受け入れ予定

(ウ) 一般団体向け体験プログラムは、刷新を検討中

(3) 土曜講座 以下のテーマとスケジュールで計9回開催予定

①「本では読めない博物館学」(4月)、②「豊臣兄弟探訪」(5月)、③「能を識る ～道具から見るお能～」(7月)、④「江戸時代の武芸者たち」(8月)、⑤「箱をひもとけば」(11月)、⑥「徳川義親の旅とコレクション」(11月)、⑦「写経にこめられた祈り」(1月)、⑧「尾張家伝来の美濃

刀」(2月)、⑨「殿さま姫さまのお慰み」(3月)

(4) 徳川林政史研究所による古文書入門講座 以下のテーマとスケジュールで計5回開催予定
テーマ:「4代吉通～7代宗春の時代」

①深井雅海「将軍の側用人・間部詮房の政治」(5月)、②白根孝胤「尾張徳川家の格式と将軍吉宗の登場」(5月)、③萱田寛也「4代当主吉通とその家臣たち」(6月)、④萱場真仁「尾張藩林政の展開～享保の林政改革～」(6月) ⑤ 藤田英昭「7代徳川宗春―藩政の再検討―」(6月)

(5) 徳川林政史研究所による江戸学講座

令和9年1月～2月の間、研究所員を講師として計3回実施予定

(6) 見学会

「尾張徳川家ゆかりの美濃刀」展(岐阜県博物館)関連の見学会等を実施予定(5月)

(7) 博物館実習 5月に5日間実施予定

(8) 学芸員の見どころトーク 対象とする展覧会で実施予定

(9) 夏休み子ども特別企画 ガイドブックを作成予定(7・8月)

(10) 中学校・高校・大学の生徒・学生の職場体験を受け入れ予定(インターンシップ)

(11) 展覧会ごとに展示作品リスト及び背景解説等のパネルを作成し、ホームページ上にも展覧会・作品解説を掲載。また展覧会ごとに英文ハンドアウトを適宜作成(QRコード経由のWEB版を含む)

(12) 古美術相談会 従来通り対応

(13) 出向・受嘱

依頼に応じ大学・文化センター等への講師や外部組織の職務に学芸員が出向し、または職務を受嘱。

(14) 協賛事業

愛知県内の博物館・資料館などをめぐるひなまつりスタンプラリー等、他館他企業との連携で実施

(15) インバウンド対応

外国人向けの音声ガイド制作を新たに検討

5. 会員制度および大学メンバーシップ制度

(1) 徳川美術館メンバーシップ

個人会員(「パートナー会員」「ゴールド会員」「プラチナ会員」)および法人会員(「A会員」「B会員」「S会員」)について各々の新規入会者拡大に努め、「メンバーシップの日」を年度内に開催予定

(2) 大学メンバーシップ制度

対象大学(学校)法人(令和8年2月現在35校参加)の学生(一部教職員を含む)への観覧料優待、および対象大学法人等への展覧会ポスター・チラシ、イベント案内等の配布・掲示を実施

[公益事業 2] 研究所の調査・研究・普及事業（徳川林政史研究所）

1. 調査・研究

(1) 研究所における研究

①名古屋城の構造と儀礼に関する研究、②近世・近代の尾張徳川家に関する研究、③徳川林政史研究所の活動に関する史学史的研究、④尾張家臣団・旧藩士族に関する研究、⑤近世の地域社会と森林利用に関する研究、⑥近世山村における生活文化に関する研究、⑦近世東北における森林資源開発の研究、⑧尾張藩江戸藩邸における家臣団の基礎的研究

(2) 徳川美術館との連携における研究

①尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究、②尾張徳川家関連資料に関する調査・研究、③展覧会事業への協力・史料出品、④教育普及事業への協力および研究交流の促進、⑤尾張徳川家家臣団に関する調査・研究

(3) 研究成果の公開・公刊

①課題研究に関する中間報告を兼ねた研究会の開催、②『金鯪叢書』第54輯（『研究紀要』第61号）の編集・刊行、③所蔵史料の編集、④史料調査の成果公開（ブックレット・翻刻史料集の刊行）

(4) 「尾張徳川史」編纂準備（尾張徳川家編年データベースの整備、史料翻刻）

(5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究

(6) 史料調査

(ア) 林政史アーカイブズ調査

①岐阜県中津川市加子母地域、②名古屋市市政資料館、③神宮文庫

(イ) 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集

①犬山城白帝文庫、②犬山市文化史料館、③名古屋市博物館、④名古屋城調査研究センター、⑤八雲産業株式会社八雲事業所

(ウ) 収集史料データおよび史料所在情報の整理・公開作業

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

名古屋市蓬左文庫、名古屋城調査研究センター、犬山城白帝文庫、名古屋市博物館、名古屋大学、徳川記念財団他、国立公文書館・国文学研究資料館他の資料保存機関、大学・学会と連携・協力し調査・研究を実施する。

2. 史料・図書の整理

(1) 所蔵史料の整理

史料整理及び目録作成（尾張徳川家文書、徳川林政史研究所収集史料、美濃国岩田村文書 他）

(2) 所蔵史料の目録刊行（『金鯪叢書』第54輯〔『研究紀要』第61号〕に掲載）

①石河家文書目録(18)、②その他

(3) 所蔵史料データベースの構築および保存

①所蔵史料データベースの構築（尾張徳川家文書、石河家文書、尾張国各郡史料、蟹江鈴木家文書他）

②目録データベースの検索・活用方法ならびに公開作業（ホームページでの検索システム構築）

(4) 史料のデジタルデータ化

所蔵古写真、所蔵史料、調査収集史料写真のデジタルデータ化の促進

- (5) 史料の購入・補修（活動支援基金）
- (6) 書庫内の整理ほか保存環境の保全
- (7) 研究用図書を購入、整理
- (8) リポジトリ掲載雑誌検索作業および当該雑誌の除籍作業

3. 教育・普及

(1) 講座・講演

①東京開催の「徳川林政史研究所公開講座」（豊島区、全2回）、②徳川美術館「徳川林政史研究所 古文書講座」（全5回）、③徳川美術館「徳川林政史研究所 江戸学講座」（全4回）、⑤史料調査と関連付けた講座・講演(中津川市加子母、全1回)

(2) ホームページによる情報発信

①ホームページを活用した尾張藩政史・幕政史・林政史の研究成果の普及、②ホームページを利用した情報発信の促進

(3) 出講・受嘱

①出講：大東文化大学、学習院大学、成城大学、十文字学園女子大学、②受嘱：外部機関からの依頼にもとづき、必要がある場合は研究員を派遣

4. 若手研究者の育成

非常勤研究員・研究生による①研究会の開催、②史料整理・目録作成作業、③徳川美術館・名古屋市蓬左文庫の見学研修、④その他史料調査・研究・普及活動などへの参加、を通じ、若手研究者の育成に努める。

5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

(1) 史料閲覧

閲覧許可日：毎週火曜日・水曜日

(2) 史料出陳

(3) 所蔵史料写真の貸し出しおよび複写サービス

(4) レファレンス対応

6. 事業評価委員会の実施（3月）

Ⅱ. 収益事業

[収益事業 1] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

外国人向け住宅の賃貸事業（全 6 棟）を継続する。

[収益事業 2] ミュージアムショップ、施設貸出利用、宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

1. ミュージアムショップの運営

売上・収益の向上に向け、売店・オンラインショップの環境整備、オリジナル商品の拡充と有名企業とのコラボ商品開発、SNS を活用した商品告知、小売・通信販売事業者等と連携したイベント、他館での委託販売等を実施し、またこれらに沿った販売強化および人材育成を図る。

2. 施設貸出利用

申請に応じ、随時外部団体・法人等への講堂・茶室等美術館施設の貸出業務を行う。

3. 宝善亭・THE MUSEUM CAFÉ の利用促進

業務委託先との連携を強化しつつ、収益向上を図る。

Ⅲ. 管理業務

[本部・総務部]

法人の円滑な事業推進、運営管理のため、徳川美術館、徳川林政史研究所の各事業部門・管理部門の業務を支援し、ガバナンスやコンプライアンスといった視点も含め、全体としての調整・統括を行う。

[徳川美術館]

1. 展覧会関連イベント等の企画・運営

- (1) 徳川ナイトミュージアム・プレミアムの開催を予定
- (2) こどもナイトミュージアムの開催を予定
- (3) 旅行会社・団体・法人等の需要に応じ、夜間貸切開館を実施
- (4) その他来館者の動向をも勘案しつつ、ナイトミュージアム（通常タイプの夜間開館）実施を検討

2. 広報

各種メディア取材・ホームページ、SNS等WEBメディアを連携させる広報を継続し、特に以下に注力

- (1) インバウンド向け広報のための基礎としての英語ツールやシステムの整備
- (2) 館内外における各種配布物の更なる見直し
- (3) 外部組織と連携したプロモーション座談会など、横のつながりを重視した効率的な広報活動の展開。

3. 営業

国内旅行、高校修学旅行、及びMICE誘致等に関連した営業活動を強化

- (1) 団体・個人向け旅行誘致、および旅ナカ需要対応の為の活動
 - (ア) (一社)愛知観光協会、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー主催の営業セールス、およびオンライン商談会の参加。
 - (イ) WEBにおける情報発信、および魅力を伝えるコンテンツの強化（オンラインチケット購入者へのメルマガ配信、YouTube動画配信など）。
 - (ウ) 市内宿泊施設、鉄道会社、タクシー会社等との相互連携による名古屋への集客企画への参加、旅ナカ（旅の途中での観光）需要への対応。
 - (エ) 教育普及と連動した体験講座・解説付き見学プランや閉館後の夜間貸切等、付加価値ある提案による誘致の拡充
- (2) 高校修学旅行誘致のための活動
教育普及の体験プログラムと連動させた誘致の提案
- (3) 法人営業
 - (ア) MICE招致推進機関との連携による、法人・宿泊施設等向けの営業活動への対応
 - (イ) 効果的な対象を重点に年間スケジュールや展覧会の情報発信を継続

4. ボランティアの会運営

以下の活動を行う。

①一般公開日における来館者の案内・監視活動、②玄関ロビーにおける定時解説（正解説員・準解説員）、③子ども教室等イベントの運営補助、④団体向けの館概要解説（正解説員）、⑤新規正解説員の育成・採用、⑥新規準解説員の育成・採用、⑦第15期生の採用（予定）、⑧同行解説に向けての研修実施、⑨ボランティアを対象とする学芸員による展示説明会の実施、⑩展示室監視活動を対象としたホスピタリティ向上研修の実施、⑪能力（スキル）向上のための見学会の実施、⑫ボランティア懇親会の実施

5. 外部組織との連携

(1) 徳川美術館運営懇話会を開催（第33回、9月）

(2) 徳川園各施設との連携

月度連絡会議、徳川園調整会議（1月下旬頃予定）等での連携。また「徳川園エリア総合インフォメーション」WEBサイトをひきつづき運用しながら相互送客をはかる。また各施設と連携しつつ、名古屋市の歴史文化基本構想を活かした観光推進事業に参加、協力する。

6. 他の美術館・博物館との連携

大名道具収蔵館研究会、私立美術館会議、(公財)日本博物館協会・(一社)全国美術館会議・愛知県博物館協会等と連携して活動する。

7. 来館者対応強化

優れた人材（職員・コンシェルジュ等）の確保と外部研修も取り入れた教育・育成により、顧客対応力を向上させ来館者満足度を一層高め、来館者数の増加を図る。また来館者ニーズの把握・分析のためのアンケート調査を年度を通じて実施。

8. 観覧料金

(1) 入館料

通常期（特別展・企画展開催時）の料金を、一般2,000円・高大生1,200円 中学生以下無料とする。（令和8年度開始の展覧会より適用）

(2) 前売券（オンラインチケット）

展覧会初日の約1か月前から販売を実施。オンラインチケットの普及・定着により、前売り価格も同価格に統一する。

(3) その他、各種割引制度の見直し、整理（障害者割引・名古屋市交通局連携割引は維持）。

9. 施設管理・営繕

設備不具合等への迅速な対応をはじめ、中長期計画に基づいた施設・設備の修繕および更新を適切に実施し、美術館業務の改善や来館者利便性向上に必要なシステム・機器の整備、環境の構築に努める。

10. 運営資金管理

(1) 活動支援基金に係る管理事務を遂行、また寄附の受け入れを拡充するための各種方策を検討。

(2) 補助金管理について、新規、継続含む国庫補助金に係る交付申請および管理事務、また民間補助金に係る交付申請および管理事務を実施。

[徳川林政史研究所]

以下の各項目を実施。

1. 補助金

(1) 国庫補助金(特定奨励費およびその他の科学研究費)に係る交付申請および管理事務

(2) 民間助成金(上廣倫理財団助成金、他)に係る交付申請および管理事務

2. 活動支援基金

活動支援基金に係る管理事務

[公益事業2] 研究所の調査研究普及事業(徳川林政史研究所) 2.(5)に記載

2. 設備管理

小荷物専用昇降機などの附帯設備の修理補修等